

## 第33回電波功績賞「総務大臣表彰」受賞

2022年6月28日に第33回電波功績賞が発表され、常務執行役員 ネットワーク本部長の小林 宏が代表となり、ソフトバンク株式会社、KDDI株式会社と連名で「5G SA方式の開発とサービスの実用化」の功績により、それぞれ「総務大臣表彰」を受賞しました。

電波功績賞は、一般社団法人電波産業会（ARIB：Association of Radio Industries and Businesses）により、電波の有効利用に関する調査、研究、開発において画期的かつ具体的な成果をあげた者、あるいは電波を有効利用した新しい電波利用システムの実用化に著しく貢献した者に対して授与されるものです。

5Gには高速大容量化のみならず低遅延化や信頼性の向上、大量のデバイスとの接続など、多様なニーズを満たす社会インフラとしての機能が求められており、このような要求を満たすためには、ネットワークをより柔軟に構築できるアーキテクチャが必要となります。今回受賞した「5G SA方式の開発とサービスの実用化」は、将来的にはEnd to Endのネットワークスライシングを実現し、ユーザの多様なニーズに応じたネットワーク性能を柔軟に提供可能とすることが評価されました。

本誌に掲載されている社名、製品およびソフトウェア、サービスなどの名称は、各社の商標または登録商標。

